

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	スズメ蜂の巣を駆除の現場確認中、スズメ蜂に刺された事例
3. 体験した事例の中心的要素	スズメ蜂の巣を駆除に出向したが、巣（屋根裏）から蜂が激しく出入りしている状況のため巣を駆除できる状態ではなく、要請者を避難させる際刺されたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	日頃、飛び回っている蜂を確認し注意を促し網で捕獲する職員を1名以上配置しているが、スズメ蜂の習性・本能を十分に理解せず、要請者を避難させるのに全員が気を取られ防護服に蜂が止まったのに気付かずにいたもの。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 20年 9月 8日 午後 4時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：建物（蜂の巣）北側路上
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	その他：蜂刺され
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：要請者の避難誘導中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[59]歳、勤続年数[37]年、現場経験年数[37]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [頻繁]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Aと 臨時職員1名	スズメ蜂の巣を駆除に出向	
経過2	当事者Aと 臨時職員1名	スズメ蜂の巣の状況確認	
経過3	当事者A	スズメ蜂に刺された	
経過4	当事者A	スズメ蜂に刺されよる アナフィラキシー症候群	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

特にスズメ蜂の巣を駆除するときは、突然攻撃することを予測し注意を払い行動の徹底。

○装備・資機材の対策について

装備・資機材にあっては従来どおり
蜂の巣、蜂の状況を判断し専門業者に依頼する

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

突然の攻撃及び集団での攻撃を予測し、現場の状況に応じた安全管理（作業の中断）に十分注意するよう徹底した。